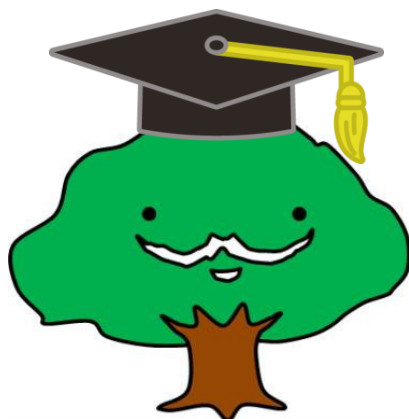


家庭学習の手引き



前橋市立敷島小学校

1 家庭学習の手引きについての考え方

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々の学習活動に取り組んでおりますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになると考えます。そこで家庭学習の手引きを作成し、保護者の皆様に配布することに致しました。保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

2 家庭学習を通して育てたい児童の姿

- ①生活時間を有効に使えることのできる児童
- ②家庭学習の習慣や方法を身に付けた児童
- ③基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童

基礎的・基本的な学習とは

- ①教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- ②教科書に出てくるような漢字を読んだり書いたりすること
- ③教科書に出てくるような算数の問題を解くことなど、教科書を基本とした内容です。これらはすべての教科で共通し、各学年間でつながりをもっているため、それぞれの学年で確実に身に付けてほしいことです。

3 家庭学習の習慣づけのために

① 習慣化のためのポイント

学習する時間を決めて毎日同じ時刻に取り組もう！

少しでもいいから、毎日続けよう！

テレビなどは消して、集中力を高めよう！

お家の人と一緒に答え合わせをしよう！

② 家庭で心がけましょう

- 早寝早起き・朝ご飯の習慣を大切にしましょう！
- 励ましてやる気を促しましょう！
- 質問されたら一緒に考えてあげましょう！
- 頑張った成果（ノートやプリント）に目を通して、努力を認めてあげましょう！



家庭学習の内容

べんきょうやどくしょ
をあわせて20分くら
いがめやすです。

①まずはしゅくだいをしましょう！

②しゅくだいのあとは、じしゅべんきょうをしよう！

<こんなじしゅべんきょうを試みよう>

1 音読(声に出して読みましょう)

- 今学習をしているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
- すらすら読めるように練習しましょう。
- 練習したら、家の人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら音読カードや教科書に読んだしるしを付けましょう。



2 文字の練習や漢字の練習

(1年生)

- 習ったひらがな・カタカナ・漢字を書き順に気をつけてノートに練習しましょう。
- 自分の使う机やテーブルの上をきれいに片付けましょう。
- 正しいえんぴつの持ち方をして、よい姿勢で書きましょう。
- ひらがなでしりとりをしながら書いてみましょう。

(2年生)

- 習った漢字を筆順に気をつけてノートに練習しましょう。
(読みがなもつけましょう。)
- 意味の分かる言葉で書きましょう。
(例「言」ではなく「言う」で練習)
- 二つ以上の漢字をつなげた言葉を書いてみましょう。



3 日記や作文

(1年生)

- くっつきの「は」「へ」「を」を使って文を作りましょう。
例 「わたしは、うたをうたいました。」
- カタカナの言葉や漢字を使って文をつくりましょう。
例 「ぼくは、土をほってチューリップのきゅうこんをうえました。」
- 読んだことや楽しかったことを絵日記にしてみましょう。
- お家の人や先生などに教えたいことを文に書きましょう。
例 「きのう、かぞくで七五三のおいおいをしました。」
- 書く文を1文からはじめて、2文3文とふやしていきましょう。



(2年生)

- 習った漢字やかなを使って短い文を作りましょう。
- 思ったことや気づいたことを入れて遊んだことや楽しかったことを書きましょう。
- 「」を正しく使って会話文を入れた文を書きましょう。

4 読書

- 絵本や図書室で借りたいろいろな本を読みましょう。
- 読み終わったら感想を書いてみましょう。



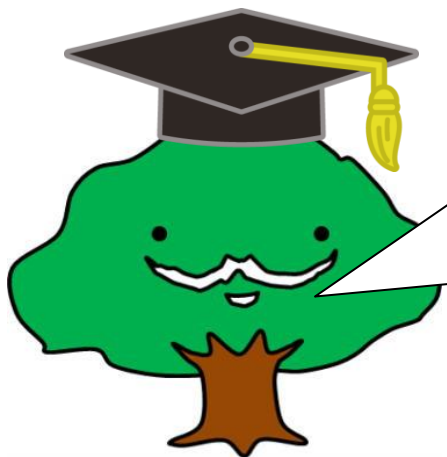
5 計算練習

(1年生)

- 10までの数を書く練習をしましょう。
- 合わせて10になる数を書きましょう。
例 2と8で10 $2+8=10$
- 20より大きい数を、10がいくつと1がいくつに分けてみましょう。
- たし算やひき算の練習をしましょう。

(2年生)

- たし算やひき算の筆算の練習をしましょう。
- 九九の暗唱ができるように練習しましょう。
- 算数の問題を作ってみましょう。
(たし算、ひき算、かけ算になる問題を作りましょう。)
- 百ます計算練習をしましょう。



「じしゅべんきょうノート」をつくってみよう!

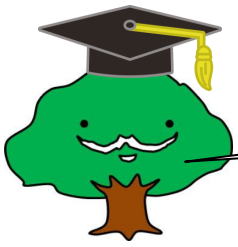
2年生はじゅぎょうようノートとはべつに、じしゅべんきょうノートをつくってみましょう! くふうして、分かりやすく楽しいノートにしましょう!

1年生も学校生活になれたらちょうせんしましょう!



~家庭での支援~

- 学校からの連絡やお便り、明日の授業の準備を子どもと一緒に確かめましょう。
- 学習時間を決めて、家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
- まずは、毎日宿題をやりきらせることを続けましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。
- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。
- 毎月10日のノーメディアデーでは、家族の会話を大切にして楽しく過ごしましょう。



「学びをつくるしきしまの子」は、がくしゅうのやくそくです。